Management Club Report

Aug.2019/Vol.200

Monthly Opinion　≪200号記念･会員寄稿集≫

15周年記念講演会後のパーティで、乾杯のご挨拶に立たれた弁護士の永松栄司先生が「１度も欠かさず毎月発行し140号を重ねた努力に敬意を表します」と仰って頂いたことが大変大きな励みとなり「ネタは探してでも書き続けよう」と誓って書いてまいりました。

熱心にご愛読いただきました会員の先生方のお陰で今回200号目を発行することができました。時に独善的な意見を一方的に押し付けるような書き方があったと思いますが、読み流しながら温かく受け入れてくださった読者の皆様方の広い心には、唯々感謝の言葉しかありません。

歯科医療の真価が改めて世に認識され健康長寿社会の実現に貢献し始めるなか、私もそろそろ運転免許を返納したほうがよい年齢に近付いてまいりました。スティーブ・ジョブズでしたでしょうか、「座っていてはアイディアは浮かばない、歩いている時こそが思考の時」と、『足』と『頭脳』は繋がっていることを言い当てた、そんな言葉を残しています。車になど乗らず大いに歩くことで健康長寿の新しい発想を生み出すことができればと考えています。

今回は１３名の方々にご寄稿を頂きました。おかげさまでいつものページ数を大幅に超える大作となりました。心より感謝申し上げます。会員にご登録いただきました順に掲載させていただいております。示唆に富んだ素晴らしい文章の数々、きっとお読みいただいた方々の心に届くことでしょう。

ちょっといい話

横浜市泉区・森歯科クリニック
院長　森　和弘

Management Club Report 200 号おめでとうございます。小生北大卒ではありますが医学部を諦めてからやる気をなくしもっぱら夜はすすきの、あるいは北 24 条ですごし必要最小限な勉強しかしていない浅学非才な身ではありますが宮原社長のご指名ですのでみなさま少しだけおつきあいお願いします。頂いたテーマは「ちょっといい話」です。

北大同窓会（全学、関東地区）2006 年 5 月の講演です。演者は北大医 S61 卒の辻　秀一さんです。氏はスポーツドクターの仕事をしており、メンタルトレー